

## 令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	観光地域づくりと伝統行事の振興
事業主体 (連絡先)	公益財団法人 妻籠を愛する会 (0264-57-3513)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地域づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,118,645円(うち支援金:1,682,000円)

### 事業内容

#### ◆観光地域づくり

妻籠宿に訪れた観光客がより満足できる観光地域づくりを推進するため、以下の事業を実施した。

- ・案内スタッフ衣装整備(スタッフ用の作務衣等の制作)
- ・妻籠宿の環境整備(街道沿線にイロハモミジを植栽)
- ・ハイカーの満足度向上(峠を歩くハイカーに快適に歩いてもらうための竹杖の作成に必要な機器の購入等)

#### ◆伝統行事の振興

『文化文政風俗絵巻之行列』で使用する備品の更新と案内看板の整備を行った。



【作務衣・桧笠】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

職員が同一の作務衣と桧笠を着用することで、観光客からスタッフの存在がわかりやすくなり、対応の向上にもつながった。また、イロハモミジの植栽による景観整備や竹杖の作成等により、より質の高いおもてなしができた。

- ・馬籠峠のハイカー人数 (うち外国人)  
平成30年5月～12月 36,053人 (23,572人)  
令和元年5月～12月 44,636人 (30,309人)  
24%増 (28%増)

文化文政風俗絵巻之行列においては、案内看板の作成や、陣幕の新調、接待の女性用上着も統一することで気持ちのいい対応をすることができ、訪れた観光客の満足度の向上につなげることができた。

- ・文化文政風俗絵巻之行列 観覧客数  
12,000人(曜日の影響大、来年に期待)

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

妻籠宿の入口でもある駐車場の案内対応、馬籠峠を歩くハイカーのための一石柵立場茶屋でのおもてなしを継続しながら妻籠宿及びその周辺の環境整備、景観保護に努めていく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 【目標・ねらい】

妻籠宿に訪れる観光客の満足度を上げるため、おもてなしの質の向上を図る。

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

ユニフォームの新調、備品の修繕等により行事の日も日常でもおもてなしの質の向上を図ることができた。